

一般社団法人日本医真菌学会 2020 年度第 1 回理事会議事録

日 時：2019 年 10 月 10 日（木）14 時 30 分～16 時 00 分

場 所：オークラ千葉ホテル 2F アイリス

出席者：澁谷 和俊（理事長）

大野 尚仁， 亀井 克彦， 杉田 隆， 坪井 良治， 福田 知雄， 槇村 浩一，

宮崎 義継， 望月 隆 以上理事 9 名

竹末 芳生（監事） 若山 恵（幹事）

議事次第：

報告：

1. 2019 年度事業報告
2. 会員異動報告
3. 各種委員会報告
4. 第 63 回総会報告
5. 次期（第 64 回）総会準備状況報告
6. 次々期（第 65 回）総会準備状況報告
7. 関連国際学会・会議に関する報告
8. ICD 制度協議会報告
9. 学会賞および学会奨励賞選考の件
10. 次期代議員選挙準備に関する報告

審議：

11. 2020 年度事業計画案について
12. 2019 年度決算報告および 2020 年度予算案について
13. 功労会員推戴の件
14. その他

報告：

1. 2019 年度事業報告（宮崎理事）

事業報告として、会議の開催（理事会 4 回，代議員総会 1 回，会員総会 1 回），第 62 回学術集会の開催（坪井良治会長，会期：2018 年 9 月 8 日（土），9 月 9 日（日），会場：大手町サンケイプラザ），会誌 59 巻 4 巻～60 巻 3 号の刊行と各種委員会活動を行ったことが述べられた。

2. 会員異動報告（宮崎理事）

2019 年 8 月 31 日現在の会員数は，個人会員 907 名（国内 905，海外 2），顧問会員 6 名，奨励会員 51 名，名誉会員 25 名（国内 23，海外 2），賛助会員 17 社（57 口），団体購読 21 名であることが報告された。また，今年度の物故会員 3 名（名誉会員 1 名，正会員 2 名，）が報告された。

3. 各種委員会報告

1) 編集委員会報告（宮崎委員長）

- ① 投稿状況（2018 年 9 月 1 日～2019 年 8 月 31 日まで）

- ・全投稿論文数の内訳

35 編（依頼：14，総説：1，原著：15，短報：3，症例：1，図説：1，その他：0）

- ・国内外の内訳（うち英文論文）

国内：28（16）編（依頼：14（7），原著：10（7），短報：3（2），症例：0（0），図説：1）

海外：7 編（総説：1，原著：5，症例：1）

② 2019 年度日本医真菌学会優秀論文賞受賞者について

編集委員会で審査した結果，下記論文が受賞された。

- ・授賞者：

Shinozaki Minoru, Naobumi Tochigi, Sota Sadamoto, Somay Yamagata – Murayama, Megumi Wakayama, and Tetsuo Nemoto

- ・受賞論文：

Histopathological Diagnosis of Invasive Fungal Infections in Formalin-Fixed and Paraffin-Embedded Tissues in Conjunction with Molecular Methods: Comparison of Reproducibility and Reliability of Histopathological Evaluation, Polymerase Chain Reaction, and In Situ Hybridization

Medical Mycology Journal Vol.59 No.1 収録

③インパクトファクターについて

クラリベイト・アナリティクスが Web of Science（データベース）に収録されているジャーナルの引用率を集計している。そのジャーナルに掲載される論文に MMJ 掲載論文がレファレンスとして引用するとカウントされる。過去 2 年間（今年は 2017 年，2018 年の論文から，来年は 2018 年 2019 年の論文）がカウントの対象となるので，会員が積極的に引用することがインパクトファクター取得の好材料となる。代議員総会，会員総会でも報告することとした。

2) 用語委員会報告（大野委員長）

- ・国際疾病分類第 11 回改訂版（ICD-11）にかかる和訳に関する意見照会への対応

各委員からの意見，日本感染症学会とのすり合わせを行った和訳案を厚生労働省国際分類情報管理室に提出した。

- ・代表的な病原真菌のカタカナ表記の提案

医学用語辞典に記載されている菌の学名カタカナ表記について，医真菌学会の菌名カタカナ表記と一致させるために，医学用語辞典へ投稿，登録を行った。

- ・Medical Mycology Journal への用語解説(No.20~23) の掲載

以下を掲載した。

シリーズ 用語解説(No. 20-23) を Medical Mycology Journal に掲載

シリーズ 用語解説(No. 20)：ハイコンテント解析法，フィコリン

シリーズ 用語解説(No. 21)：エクソソーム，インターロイキン 17

シリーズ 用語解説(No. 22)：薬剤耐性，抗微生物薬使用密度と抗微生物薬使用日数

シリーズ 用語解説(No. 23)：菌腫，ペントラキシン 3

3) 将来計画委員会報告（神田委員長欠席のため，宮崎理事代理報告）

新規入会会員獲得のため，以下提案があり，継続審議とした。

- ・ 後期研修医等の若手医師を対象とした教育的レクチャー
- ・ 他学会との共催セミナーや企業との共催セミナー

- 多施設共同研究のための学会ワーキンググループ設置
- HP の改善(若者向けのデザイン, 研究費助成金リンク等)
- コ・メディカルの年会費, 学会参加費の軽減
- 認定制度等の導入
- 血液学会総会との日程調整

4) ガイドライン検討委員会報告

侵襲性カンジダ症に対するマネジメントのための臨床実践ガイドライン委員会について, 竹末委員長より委員会の開催と進捗状況, 発行までのスケジュールについて説明があった。

2019年4月6日 第1回ガイドライン作成委員会

2019年5月11日 第2回ガイドライン作成委員会

2019年10月12日 第3回ガイドライン作成委員会

発表予定: 来年の日本医真菌学会総会

発行予定: 来年10月

5) 支部・関連学会委員会報告 (泉川委員長欠席のため, 宮崎理事代理報告)

①各支部・関連学会の活動報告について

・東北支部

2019年6月23日(日)

第31回東北真菌懇話会・日本医真菌学会支部会(宮城)

・関東支部

2019年6月29日(土)

第68回神奈川医真菌研究会(神奈川)

・東海・北陸支部

2019年1月26日(土)

第4回東海・北陸支部会深在性真菌症部会(福井)

2019年3月3日(日)

第49回北陸真菌懇談会・第4回日本医真菌学会東海北陸支部表在性真菌症部会講習会(石川)

2019年3月16日(土)

第43回東海医真菌懇話会・第4回日本医真菌学会東海北陸支部表在性真菌症部会(愛知)

2019年7月7日(日) 第50回北陸真菌懇談会

・関西支部

2019年7月21日(日)

第107回関西真菌懇話会・真菌セミナー(大阪)

・九州・中四国支部

2019年7月7日(日)

第3回日本医真菌学会九州・中四国支部会, 第86回九州真菌懇話会 合同開催(福岡)

②各支部会および関連の会の今後の予定について

・東北支部会

2019年12月20日(金)

第3回東北医真菌研究会(宮城)

2020年7月12日(日)

第32回東北真菌懇話会(宮城)

- ・ 関東支部会
2020年5月9日(土)
第69回神奈川医真菌研究会(神奈川)
- ・ 東海北陸支部会
2020年1月25日(土)
第5回東海・北陸地方会深在性真菌症部会(岐阜)
2020年2月8日(土)
第44回東海医真菌懇話会・第5回日本医真菌学会東海北陸支部表在性真菌症部会(愛知)
2020年3月1日(日)
第51回北陸真菌懇談会・第5回日本医真菌学会東海北陸支部表在性真菌症部会講習会
(石川場所: 金沢医科大学)
2020年7月5日(日) 第52回北陸真菌懇談会
- ・ 関西支部
2020年2月8日(土)
第7回日本医真菌学会 関西支部 深在性真菌症研究会
2020年2月29日(土)
第108回関西真菌懇話会・真菌セミナー(大阪)
2021年 開催予定
第8回日本医真菌学会 関西支部 深在性真菌症研究会
- ・ 九州・中四国支部
2019年12月8日(日)
第87回九州真菌懇話会(沖縄)
2020年 7月5日(日)
第4回日本医真菌学会 九州・中四国支部会, 第88回九州真菌懇話会 合同開催 (長崎)

6) 疫学調査委員会報告(福田委員長)

5年ごとに疫学調査を実施しており次回の調査は2021年に行う予定。2020年を調査協力施設の選定, 依頼などの事前準備に充て, 2021年の1年間を調査期間とし, 2022年にそのデータをまとめ報告する予定である。

7) 教育委員会報告(杉田委員長)

報告:

第7回皮膚真菌症指導者講習会を2019年7月27日(土), 帝京大学板橋キャンパスで開催した。また, 2020年1月31日~2月2日開催の第31回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 2020年2月19日~21日開催の第93回日本細菌学会総会は共同共催となった。また, 第70回日本皮膚科学会中部支部学術集会では会長である望月理事の協力を得て, 本会后援で真菌供覧コーナーを設置し, 盛況であった。また, 明日からの第63回総会・学術集会でも亀井会長の協力のもと同様に真菌供覧コーナーを設けていただいている。

審議:

第68回日本化学療法学会総会でのジョイントシンポジウムが提案され, 会長である竹末監事がこれを了承し, 理事会としても了承した。

菌名のリスト化を本会で作成することが提議された。審議の結果, 杉田理事, 楨村理事, 望

月理事を中心に検討することで合意した。

8) 広報委員会報告（槇村委員長）

学会ホームページの年間アクセス状況について報告があった。国別では日本、アメリカに次いでロシアからのアクセスが多かった。検索語ではガイドラインに関連するキーワードが多い。Medical Mycology Library を公開したが、いまよりアクセスしやすくなるようホームページを更新する予定である。

9) 専門医・認定師委員会報告（望月委員長）

前回理事会以後の活動報告は特になし。

10) 規約検討委員会報告（澁谷委員長）

前回理事会以後の活動報告は特になし。

11) 倫理委員会報告（亀井委員長）

前回理事会以後の活動報告は特になし。

12) COI 委員会報告（亀井委員長）

前回理事会以後の活動報告は特になし。

4. 第 63 回総会報告（亀井会長）

亀井会長より学術集会開催にあたり挨拶が述べられた。

5. 第 64 回総会準備状況報告（澁谷次期会長）

2020 年 10 月 9 日（金）～10 月 10 日（土），京王プラザホテルにて開催予定であることが報告された。

6. 次々期（第 65 回）開催の件（宮崎次々期会長）

2021 年 10 月 29 日（金）～30 日（土）に開催予定であることが報告された。会場は選定中である。

7. 関連国際学会・会議に関する報告（坪井理事）

7th APSMM (Asia Pacific Society for Medical Mycology) , 9th AAAM (Advances Against Aspergillosis and Mucormycosis) , 21st ISHAM (The International Society for Human & Animal Mycology) の開催概要について説明があり，参加を呼び掛けた。

8. ICD (Infection control doctor) 協議会報告（望月理事）

前回理事会以後の活動報告は特になし。

9. 学会賞および学会奨励賞選考の件

再度授賞者を確認し会員総会後に授賞式を行うことを確認した。

1) 学会賞選考委員会（大野委員長）

- ・竹末 芳生 兵庫医科大学 感染制御学
- ・宮崎 義継 国立感染症研究所 真菌部

2) 奨励賞選考委員会（亀井委員長）

- ・萩原 大祐 筑波大学 生命環境系糸状菌相互応答講座
- ・梅山 隆 国立感染症研究所
- ・張 音実 明治薬科大学 微生物学研究室

10. 次期代議員選挙準備に関する報告（宮崎理事）

以下3名が選挙管理委員に選出された。また選挙に係るスケジュールが報告された。

選挙管理委員会

委員長 若山 恵(東邦大学医療センター大森病院)

委員 梅山 隆(国立感染症研究所)

原田和俊(東京医科大学病院)

2019年11月1日 代議員候補者へ調査の通知

2020年1月27日 代議員選挙投票用紙の発送

2月25日 投票締切

4月27日 理事選挙投票用紙の発送

審議：

11. 2020年度事業計画案について（宮崎理事）

事業計画として、会議の開催（理事会3回、代議員総会1回、会員総会1回）、第63回学術集会の開催（亀井克彦会長会期：2019年10月11日（金）、10月12日（土）会場：オークラ千葉ホテル）、会誌60巻4巻～61巻3号の刊行を予定している。また、役員・代議員選挙を実施することが報告された。異議なく承認された。

12. 2019年度決算および2020年度予算案について（望月理事）

1) 2019年度決算報告

個人会費が予算を約100万円下回ったこと、ガイドラインの収支差額が約100万円マイナスとなったことが主な要因で、2,154,076円の赤字決算となった。支出が抑えられ予算よりは赤字が少ない決算となった。続いて竹末監事より馬目公認会計士の監査、ならびに竹末、三嶋両監事による監査の結果、内容が適正であることが報告された。以上審議の結果2019年度決算は承認された。

2) 2020年度予算案について

収入支出ともに例年並みの予算であるが、選挙年のため理事・代議員選挙費として50万円を計上した。3,681,000円の赤字予算となった。審議の結果、2020年度予算案は承認された。

続いて、赤字予算が続いているため、財務体質改善について審議した。収入を上げるために会費の納入率向上のための働きかけが前提にあるが、会費の値上げも視野に入れる。会誌刊行費が支出の割合からすると大きいので、印刷体からオンラインジャーナルに切り替えることを検討していくこととした。次回理事会以降審議を重ねていく。

13. 名誉会員および功労会員推挙の件（亀井理事）

会員総会後に授賞式を執り行うことを確認した。

功労会員候補者：川本 進

14. その他

- ・希少（深在性）真菌症診断治療 GL 作成開始の検討（澁谷理事長）

本件は泉川理事を委員長として新委員会を発足させ、検討を開始することが提議され、承認された。

- ・新たな賞設置の件（澁谷理事長）

前回理事会で学会賞，奨励賞に続く新たな賞を検討する委員会設置については理事会の了承を得ている。楨村理事を委員長として検討委員会を新設すること提議され、承認された。

以上

議事録署名人

理事長 澁谷 和俊

監事 竹末 芳生